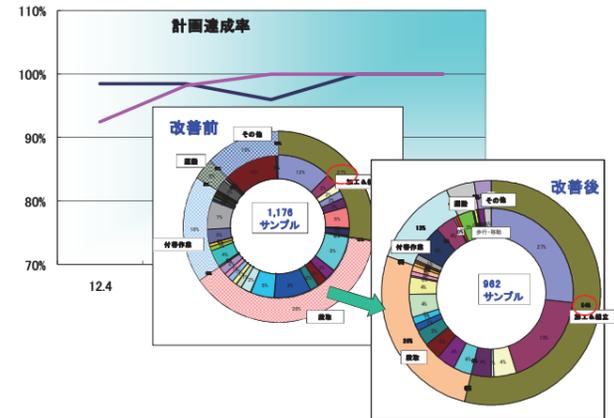


育成プログラム導入の成果

研修実施後の成果

- ・時間当たり生産量23%向上
- ・稼働率27%→54%（100%向上）
- ・納期順守率30%向上
- ・滞留在庫品数23%減少
- ・計画達成率92%→100% 等々



アンケート結果自由意見

- ・職場の問題が再認識でき、いろいろ気づかされる
ことがあり、実のある研修だった
- ・かなり自分のスキルアップになった。
- ・問題解決のストーリー性を持ち解決すれば、解決
の近道だと確認でき良かった。
- ・ここまで自分で活動できるとは思っていなかった
ので満足しています。ありがとうございました。
- ・とても楽しく、やりがいがありました。
- ・自職場の現状が良くわかり、大変役に立ちました。
- ・今回の研修で今までの体験できなかったことや、
自分自身振り返り、周囲が見れるようになりました。
- ・この研修を終えて、終わったというよりこれから
先が長いと思った。この学んだことを思い出し改
善解決していきたいと思います。
- ・非常に良い経験をさせていただきました。今後の
プレッシャーもありますが、楽しかったです。今
後も「楽しむ」を基本にがんばっていきたくと思
います。 等々

標準プログラムのスケジュール・対象人数等

Japan Productivity Center Consulting Dept.

プログラム	日数	スケジュール（月）					
		1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目
1.気づきの学習	2	➡					
2.講義・演習	4	➡1			➡2		➡3
3.現場指導	4		➡1			➡2	
4.実践活動・上司によるフォロー	—	➡現状・原因分析		➡改善実施・効果測定			

・対象人数 15名（15職場）
 ・テキスト 標準テキスト使用
 ※対象人数、期間、日数、テキストのカスタマイズ等、ご相談に応じます。お見積りはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

公益財団法人日本生産性本部 コンサルティング部

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1
 電話：03-3409-1130 FAX：03-3797-1810 Eメール：consul.info@jpc-net.jp
 担当：衛藤、横山、上田
 ホームページからのお問い合わせは <http://consul.jpc-net.jp/mc/>

Quality

ものづくり現場の人づくり

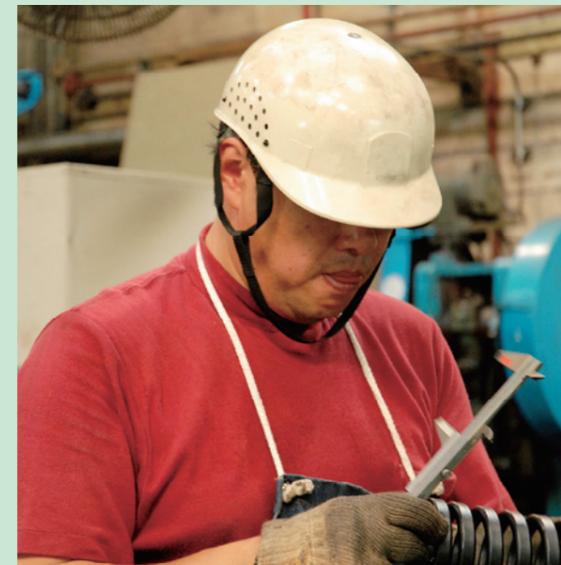
現場力向上リーダー育成プログラム

Cost

Delivery

Safety

Environment



- 現場の課題解決・改善が進まず、現場力が落ちてきている
- ベテランと若手の間にギャップがあり、技能伝承が遅れている
- 研修は実施しているが、現場での実践行動に結びついていない
- 小集団活動を休止しているため、チームワークやコミュニケーション力が弱い
- 海外展開強化中で、人材が海外流出し、国内マザー工場の人材が手薄
- 人員を減らしてきたため、管理職やスタッフも多忙であり、現場リーダー育成の機能が働いていない

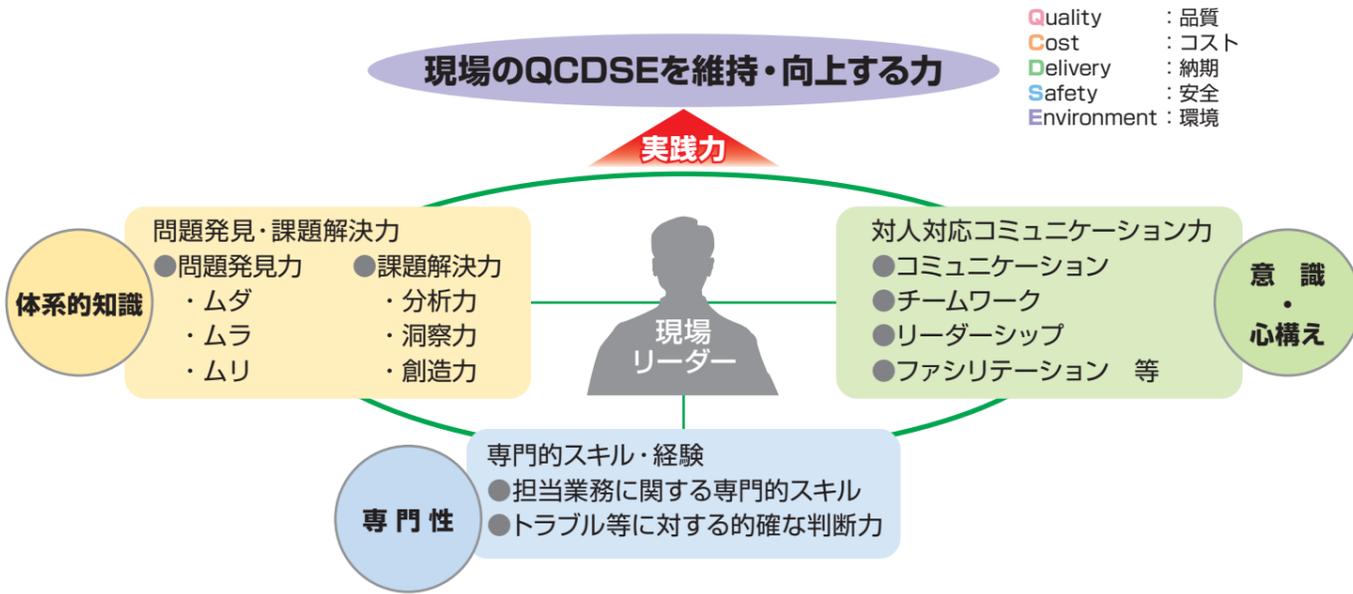
現場力向上リーダー育成プログラムが解決します



公益財団法人 日本生産性本部
 JAPAN PRODUCTIVITY CENTER

現場リーダーに求められる能力とは

現場リーダーには主に次のような能力が求められ、バランスよく強化することが重要です。特に経営においては最終的に「実践力」が最重要であり、実践を通じた能力向上が不可欠です。



プログラムの基本的な考え方

体験型学習による実践力の向上

課題解決能力は単なる知識教育だけでは身につけません。どのような状況に対して、どの手法や考え方を適用するか、実際に経験してみないと継続的・自律的には活用できないと考えます。当プログラムでは現場リーダーが直面している現実の課題を取り上げ、現場改善・コストダウン活動を指導してきたコンサルタントが課題解決目標の達成まで直接指導し、受講者に達成感を感じてもらうことにより、自信に満ちた現場改善リーダーを育てます。

バランスの良い能力基盤の育成

一般に現場リーダーの専門的知識・技能・判断力等については現場での実務経験を通して培われています。課題解決を推進するには、その能力を基盤として、ムダ・ロスの視点、課題解決の進め方・手法、生産管理の基礎等の知識も必要になります。当プログラムでは、体系的知識・意識変革・実践経験をバランスよく取り入れ、リーダーとして自主・自律的に課題解決が進められるようにします。

現場活力を高めるリーダーシップ

現場リーダーが課題解決を進めるには、周りのメンバーを巻き込み、やる気にさせて進めていく必要があります。そのためにはまずリーダー自身の意識変革、リーダーシップ・コミュニケーション能力等を向上する必要があります。当プログラムでは体験型コミュニケーション研修を取入れ、気づきに基づく意識変革を促します。

自立型人材の育成

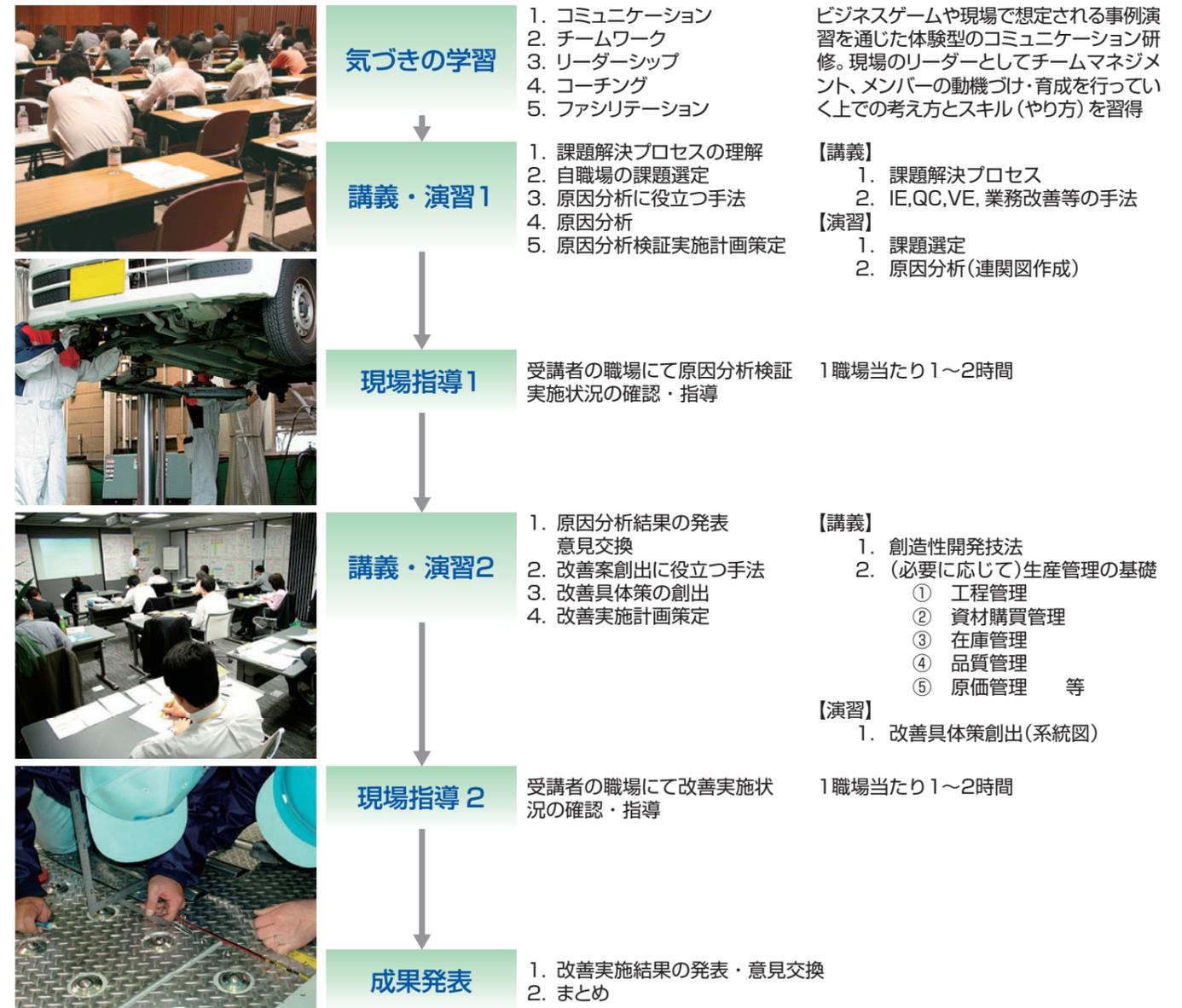
課題解決・改善活動は継続的実践が必要です。そのためには解決・改善の喜びを知ってもらうことが重要であると考えます。上から押しつけられた活動ではなく、自ら「やりたい」と思う課題に挑戦し、達成の喜び、成功体験を知ることで、自ら主体的に動くことができるリーダーを育てます。

育成する能力とプログラムの関係

課題解決プロセス	体系的知識	実践力	専門性	意識・心構え
	講義	ワークショップ 現場指導	上司によるフォロー	体験型コミュニケーション研修
問題発見	ムダ・ロスの視点	自職場の問題点の抽出・課題選定	選定課題に対する意見交換・指導	1. コミュニケーション・リスニングの重要性
現状分析 原因分析	IE、QC、VE、業務改善等の手法	1. 連関図による原因仮説設定 2. 原因分析実施計画の策定 3. 現場での現状・原因分析の実施	現状・原因分析実施状況のフォロー・指導	2. リーダーシップの考え方 3. チームワーク作りの鍵
改善案創出	1. 創造性開発技法 2. 生産管理の基礎	1. 系統図による改善具体案の創出 2. 改善実施計画の策定	改善案に対する意見交換・指導	4. 全体最適の視点と自主的な部下を育む環境づくり
改善案実施	—	現場での改善案の実施	改善案実施状況のフォロー・指導	5. 部下を動機づけ高い成果を得ることと継続改革
効果検証	評価指標の考え方	1. 課題に対する改善効果の検証 2. 次の課題の抽出	活動に対する総合評価・指導	

下記の狙いを実現するために、プログラムの一環として受講者直属の上司によるフォローを行って頂きます。
 1. 専門的技術・技能に関する支援をして頂き、課題解決の成果を確実に達成する。
 2. 組織として取組むことを明示し、上司・部下の協力を得られるベースを作る(受講生一人きりにさせない)。
 3. 可能な限り組織目的と整合した活動にする(組織目的と受講生の主体性のバランスを追求する)。

標準プログラム



気づきの学習

- 1. コミュニケーション
- 2. チームワーク
- 3. リーダーシップ
- 4. コーチング
- 5. ファシリテーション

ビジネスゲームや現場で想定される事例演習を通じた体験型のコミュニケーション研修。現場のリーダーとしてチームマネジメント、メンバーの動機づけ・育成を行っていく上での考え方とスキル(やり方)を習得

講義・演習1

- 1. 課題解決プロセスの理解
- 2. 自職場の課題選定
- 3. 原因分析に役立つ手法
- 4. 原因分析
- 5. 原因分析検証実施計画策定

【講義】
1. 課題解決プロセス
2. IE, QC, VE, 業務改善等の手法

【演習】
1. 課題選定
2. 原因分析(連関図作成)

現場指導1

受講者の職場にて原因分析検証実施状況の確認・指導

1職場当たり1~2時間

講義・演習2

- 1. 原因分析結果の発表
意見交換
- 2. 改善案創出に役立つ手法
- 3. 改善具体案の創出
- 4. 改善実施計画策定

【講義】
1. 創造性開発技法
2. (必要に応じて)生産管理の基礎

- ① 工程管理
- ② 資材購買管理
- ③ 在庫管理
- ④ 品質管理
- ⑤ 原価管理 等

【演習】
1. 改善具体案創出(系統図)

現場指導2

受講者の職場にて改善実施状況の確認・指導

1職場当たり1~2時間

成果発表

- 1. 改善実施結果の発表・意見交換
- 2. まとめ